H264方式4チャンネルビデオレコーダー

H264 4chanel Digital Video Recorder

KDR-1000 VerⅢ

取扱説明書

Ver1.0

1.1　安全上の注意　必ずお守り下さい

正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読み下さい。
保管の際は必ず、すぐに取り出せる場所に大切に保管して下さい。

お使いになる人、他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■　表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明いたします。

△警告　この表示の欄は、『死亡または重傷などを負う可能性が想定される』内容です

△注意　この表示の欄は、『傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される』内容です。

△警告

■絶対に分解したり修理、改造をしたりしない。火災・感電の原因になります。
■指定の電源・電圧以外で使用しない。火災・感電の原因になります。
■本機に水などの液体をこぼさない。感電・ショート・火災の原因になります。
■湿気やホコリの多い場所や直射日光の当たる場所に置かない火災・感電の原因になります。
■異常な臭いや音がするときは、すぐに使用をやめ電源を切るお客様による修理は危険です。販売店へご相談下さい。

△注意

■アダプターを抜くときは電源コードを引っ張らないコード
コードが傷つき、火災、感電の原因になります。必ずアダプター本体を持って抜いて下さい
■ぬれた手でアダプターの抜き差しをしない。感電の原因になることがあります。
■長時間ご使用なさらないときはアダプターをコンセントから抜く。
火災、感電の原因になることがあります。
■本機の上に重いものを置かない。バランスが崩れて倒れたり、落下して怪我の原因になることがあります。

著作権及び免責事項

1.取扱説明書の著作権は株式会社ケイヨーテクノが所有します。当社の許可なく、取扱説明書の一部または全部を転写・複製・改変などを行うことは禁じます。

2.取扱説明書に書かれている内容・仕様は事前に予告無く変更する場合がございます。

3.本製品を使用した結果の影響につきましては弊社で　は一切責任を負いません。

1.2　使用上の注意　必ずお守り下さい

■ハードディスクについて

記憶装置。磁性体を塗布したアルミニウムやガラスのディスクを一定の間隔で何枚も重ね合わせた構造に
なっており、これをモータ-で高速に回転させて磁気ヘッドを近づけてデータを読み書きする。磁気ヘッドと
ディスクは1000分の1mm以下と非常に接近するため、**振動に弱い。**　パソコン・DVDレコーダーに
防犯用記録装置に搭載されている、代表的な記録装置。

■ハードディスク使用上の注意

本機は精密機械であるハードディスクを搭載しています。
使用には下記の注意を守った上でご使用くださるようお願いします。
以下の状況で故障した場合は保証期間内であっても有償修理になる場合がございます。

●本機に振動や衝撃を与えないで下さい。
ハードディスクへのアクセス中は、特にご注意ください。故障の原因になります。

●電源がオンになっている状態で、電源プラグを抜かないでください。
再生・録画の動作中は特にご注意ください。

●本機の電源を切った後、すぐに移動させないでください。
電源を切ってからハードディスクの回転が停止するまで時間がかかります。
移動する際は電源を切ってから**1**分以上たってから移動して下さい。

■ハードディスクの使用目安時間

ハードディスクは消耗品になります。耐久時間は温度**25**℃の環境で約**2**万時間から**3**万時間になります。
（この数字はあくまでも目安であり動作を保証するものではございません）本体内の温度が高い場合は
本体の耐久温度はさらに減りますので本体側面部や背面の冷却用ファンの前には物を置かず、換気の
よい状態を保ってください。

■ハードディスクの交換時期

2万時間以上使用すると、故障や誤作動が起こりやすくなります。最低**2**年に**1**度はハードディスクを交換
することをお勧めいたします。
その際はお買い上げ頂いた販売店へ持込修理扱いで当社へご依頼くださるようお願いします。

ハードディスクは消耗品になりますので最低**2**年に**1**回は交換されることをお勧めします。

HDDを交換・修理する場合は、録画されている内容を新しい**HDD**に移す事は出来ません。

KDR-1000の基本操作は、マウスで使う事を前提に設計されています。
リモコンでは設定出来ない項目もあります。

第1章　製品構成..............................

1.1. 安全上の注意 **1**

1.2. 使用上の注意 **2**

1.3. **KDR-1000　4**台用 **5**

1.4. 仕様 **11**

第2章　製品構成..............................

2.1. スタート設定 **12**

2.2. ログイン **13**

2.3. 終了/ログアウト **134**

2.4. パネルメニュー **15**

2.5 システム設定 **18**

2.6. カメラ設定 **21**

2.7. イベント設定 **27**

2.8. ネットワーク設定 **31**

2.9. インフォーメーション設定 **36**

2.10. サーチ **40**

第3章　ネットワーク設定方法 44

3.1. ログイン **45**

3.2. ライブモード **46**

3.3. サーチモード **47**

3.4. セッティングモード **49**

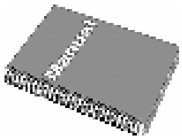
特長

●大容量ハードディスク搭載
最大**189.7**日録画が可能です。　※**CIF/120fps**　録画画質〔最低品質〕　動きがすくない場合
●**H264**画像圧縮方式で高画質・長時間の録画が可能
従来の**M-JPEG**・**MPEG4**方式に比べ『高画質』・『高圧縮』を実現しました。
●ネットワーク対応
インターネットを介して遠隔地からライブ映像をみたり、データのバックアップを行なえます。
インターネット・エクスプローラーをにて使用する事ができます。
固定**IP**アドレス・ダイナミック**DNS**・**DHCP**・**PPPOE**に対応しております。
●**1**音声入力・**1**音声出力　映像だけではなく、音声を録音する事ができます。
●先進のモーションディテクター搭載
3種類の感度調整設定で従来よりも詳細に設定する事ができます。動きがあったカメラの画面に動作検知マークが表示されますので、どのカメラに動きがあるか**4**分割状態での把握が可能です。
●アラーム入力・出力機能搭載
オプションで外部アラームやアラーム入力機器に接続可能
人感センサーやオン・オフスイッチを接続する事により接続した機器に反応があった時だけ録画することも可能です。
●多彩な検索機能〔日付時間検索・全リスト検索〕
多彩な検索機能で見たい録画を瞬時に検索・再生する事ができます。
●**USB**バックアップ機能
USBフラッシュメモリに高速バックアップが可能
●記録中でも再生が可能な同時記録・再生機能
記録を止めずに検索・再生が可能なので監視記録にすきまを作りません。

製品構成　※ご確認下さい

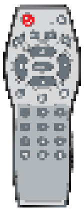
パッケージの中には、以下のものがはいっております。　ご確認下さい。

KDR-1000　VerⅢ×1



取扱説明書〔保証証付〕×1

マウス×**1**



リモコン×**1**

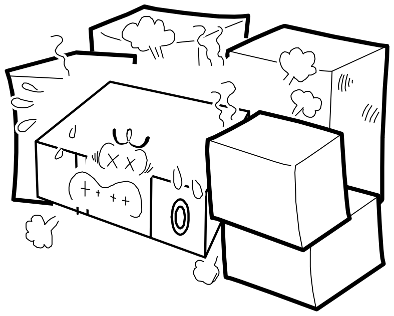
アダプター×**1**

1.1安全上の注意

必ずお守り下さい。　故障、火災、感電の原因になります。

□　設置に関して・・・

本体を熱のこもる場所へ設置しないで下さい。



□　衝撃に関して・・・

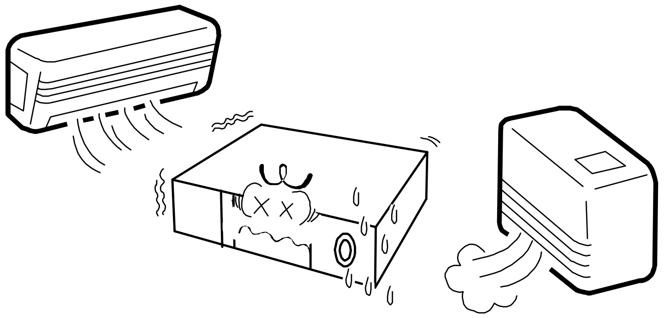
本体に衝撃、振動を与えないで下さい。

□　湿気・湿度に関して・・・

湿気・水気のある所に設置しないで下さい。

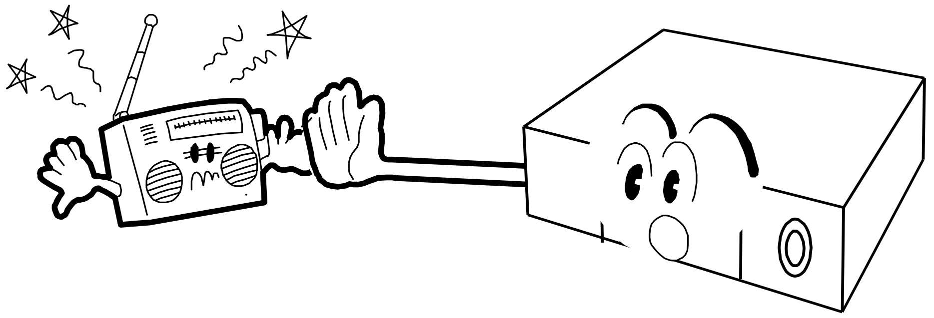
□　使用温度に関して・・・

定格温度より、寒い所や暑い所に設置しないで下さい。



□　電磁波に関して・・・

テレビ、ラジオ、電子レンジ等強い電界・磁界の近くに設置しないで下さい。

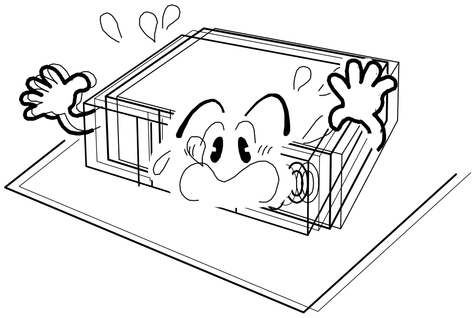


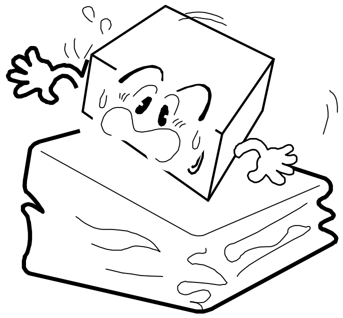
□　直射日光に関して・・・

直射日光にあたる所に設置しないで下さい。

□　振動に関して・・・

不安定な場所に設置しないで下さい。





1.3　　KDR-1000各機能名

■ 前面パネル

①**電源スイッチ:** 本体を起動する際に押します。

②**電源ランプ**：電源オン時、ランプが点灯します。

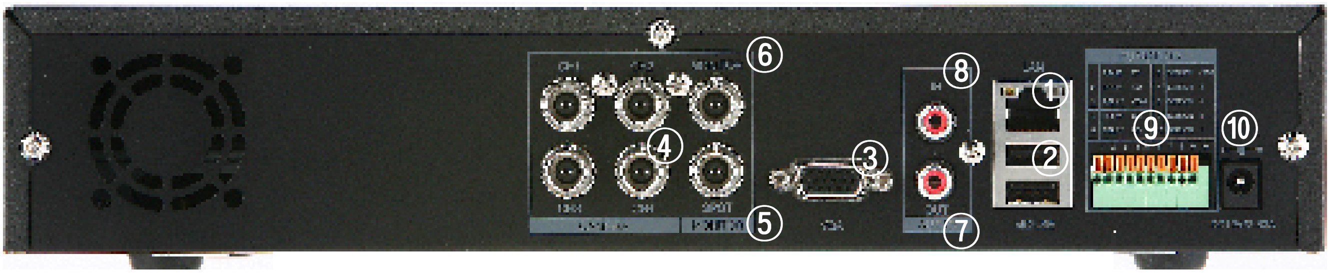
③**ネットワークランプ**：ネットワークアクセスをしている時、点灯します。

④**ハードディスクランプ**：ハードディスクにアクセスしている時、点灯します。

⑤**USB端子**：**USB**フラッシュメモリを使って、データバックアップやファームウェアのアップグレート時に使用します。

(注意：マウスの接続は、背面の**USB**になります。前面に接続しても動作しません**)**

■ 背面パネル



①**LAN**端子：**LAN**ケーブルを使いパソコン・ルーターに接続します。
②**USB**端子：付属の**USB**マウスを接続します。
③**VGA**端子：モニターの**VGA**端子に接続する場合に使用します。
④映像入力端子：カメラ映像入力端子〔**BNC-J**〕

カメラの映像ケーブルを接続します。最大**4**台

⑤**SPOT**：〔スポットアウト端子〕　設定したカメラ**1**台の映像のみ出力します。

⑥**MONITOR**〔映像出力端子〕　モニターに接続します。〔**BNC-J**〕

⑦**AUDIO　OUT**〔音声出力端子〕　音声出力端子〔**RCA-J**〕　音声を出力します。

⑧**AUDIO　IN**〔音声入力端子**1**〕　音声入力端子〔**RCA-J**〕　カメラや外部マイクからの音声を入力します。

音声**1**の場合は、映像の**1**とリンクします。

⑨**EXTERNAL　I/O**　外部機器〔**PTZ**カメラ〕を接続します。

⑩**DC12V**〔電源〕　付属の**DC12V**アダプターを接続するコネクターです。

接続方法

下記の接続は本体の電源を入れる前に必ず行って下さい。

（**1**）カメラを本体の**CH1-4**に接続します。（**BNC-J**端子）

（**2**）モニター（**TV**）を**MONITOR**に接続します。（**BNC-J**端子）

（**3**）必要に応じて下記の図のように接続します。

①**AUDIO**入力にマイクを接続する事ができます。

②**AUDIO**出力にモニターやスピーカーを接続する事ができます。

③**LAN**端子にルーター（パソコン）を接続します。

（**4**）付属の**AC**アダプタ**-**を本体に接続し、コンセントにコードを差込ます。

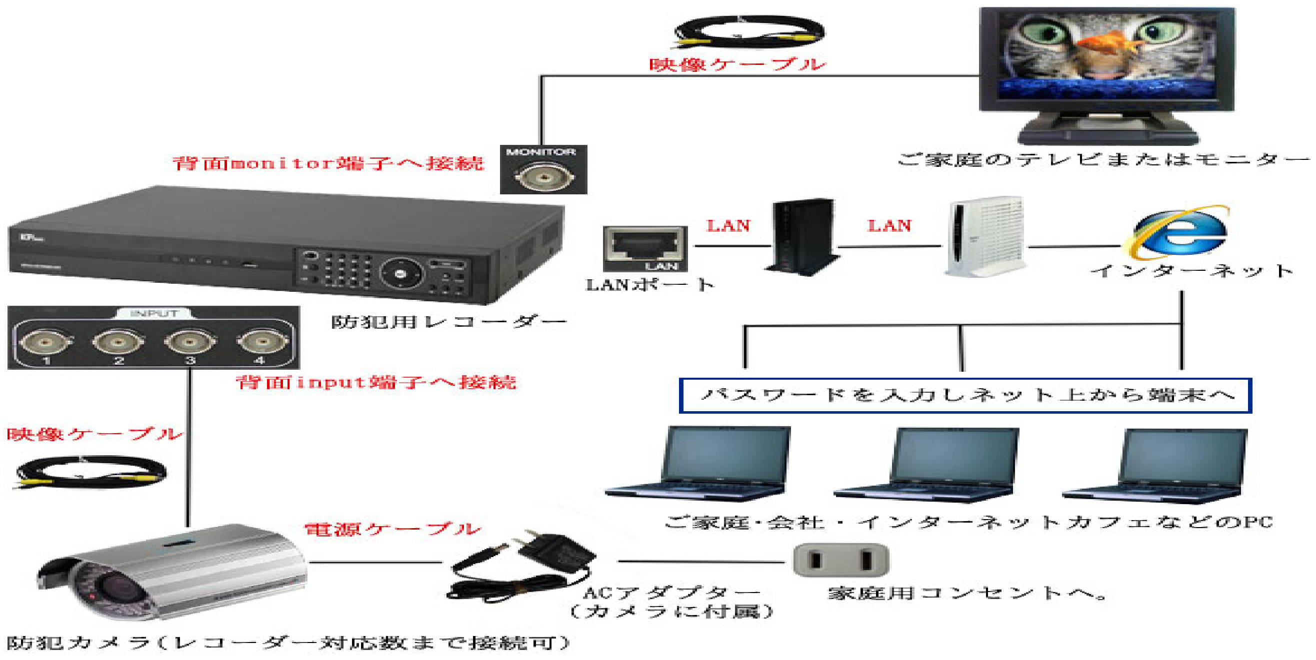
（**5**）電源**LED**が赤く光ります。

30～**60**秒でシステムが立ち上がります。

注意①：本機はテレビシステムを自動検出して**NTSC**・**PAL**を選択します。本機の電源を

入れる前に必ずカメラの電源を入れて接続しておいて下さい。

[録画装置＆モニター・インターネット接続例]



リモコン

電源ボタン：本体の電源を切る際に使用します。

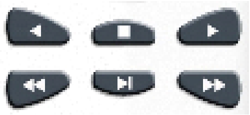
消音ボタン：音声入力時、モニターからの出力
音声をミュートします。

メニューボタン：メニューを呼び出す際に
使用します。

キャンセルボタン：アクションを取り戻す際に
使用します。

ライブモード：再生中にボタンを押すとライブ画面に
戻ります。

コントロールボタン：カーソルを上下左右に移動します。
選択した項目の数値・設定を
変更します。


コントロールボタン：巻き戻し・早送り・停止・再生・早送り再生・巻き戻し再生

コントロールボタン：巻き戻し・早送り・停止・再生・早送り再生・巻き戻し再生

バックアップメニュー：バックアップメニューを呼び出します。

1.4 製品仕様

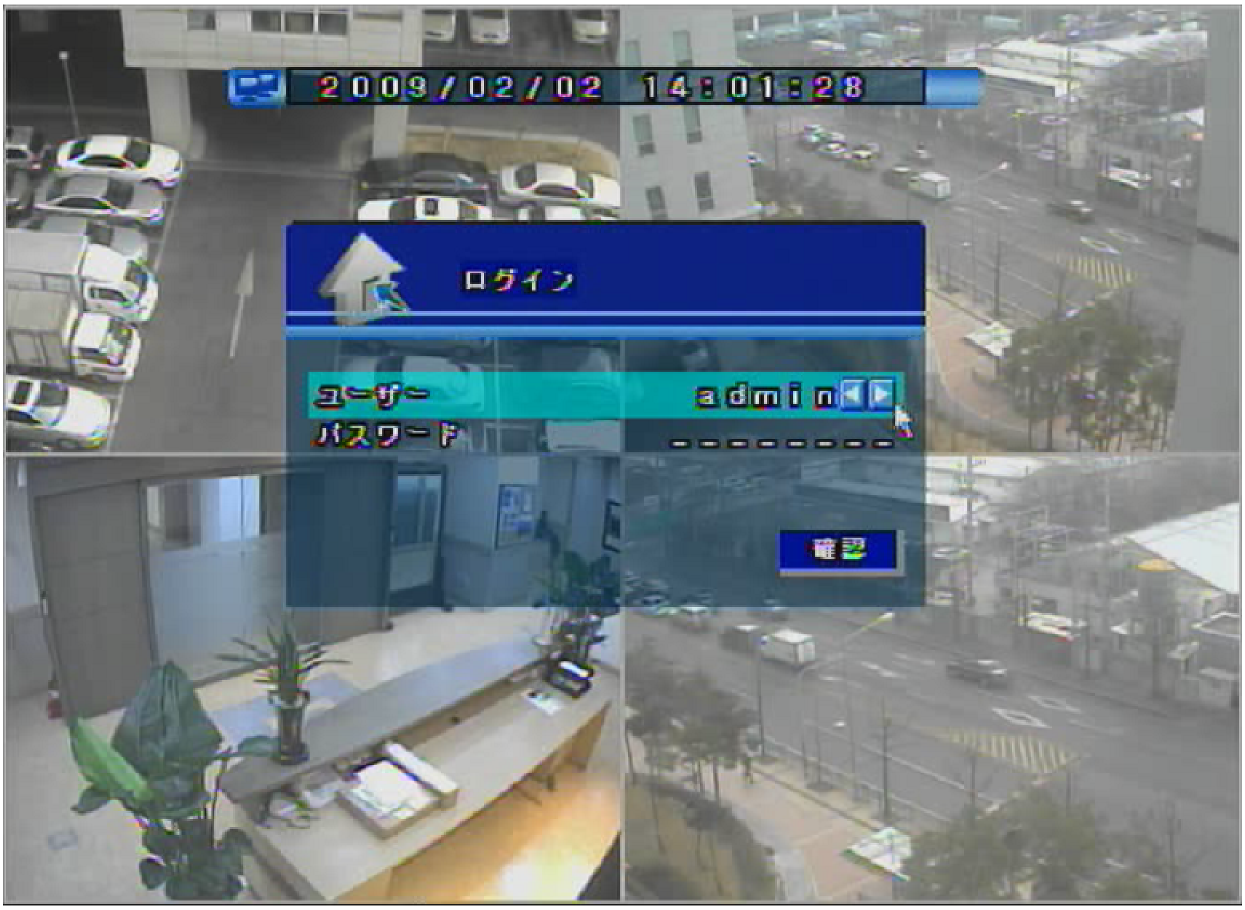
SPECIFICATIONS	4CH	9CH	16CH
オペレーティングシステム	Embedded Linux		
録画方式	H.264圧縮方式		
多重操作	トリプレックス (ライブ,録画, 再生, ネットワーク同時操作)		
録画解像度	D1, Half D1, CIF		
ライブスピード	PAL 100fps, NTSC 120fps	PAL 225fps, NTSC 270fps	PAL 400fps, NTSC 480fps
録画スピード	PAL 100fps/ NTSC 120fps @ CIF 解像度時		
ビデオ入力/ループアウト	4 入力/-	9入力 / 9出力	16入力 / 16出力
ビデオ出力	BNC-J：2系統 (スポット・モニター) VGA：１系統		
音声入出力(RCA-J)	1入力 / 1出力	4 line / 1 line	
センサーインプット リレーアウトプット	4入力 / 1出力	8 line / 4 line	16 line / 4 line
分割画面	１/４画面・PIP	1/4/9画面 シーケンシャル, PIP	1/4/9/16画面 シーケンシャル, PIP
バックアップメディア	USBフラッシュメモリ ネットワークバックアップ	USBフラッシュメモリ DVD/RW(オプション), ネットワークバックアップ	
記録メディア	1000GB/ハードディスク USBフラッシュメモリ	HDD3機搭載可, USBフラッシュメモリ	
録画方法	モーションセンサー・センサー		
本体操作方法	マウス・赤外線リモコン	マウス,赤外線リモコン 本体前面パネル	
コントロール端子	RS-485	RS232C, RS485	
ネットワーク	LAN(イーサネット RJ-45, 10/100 base), DDNS, TCP-IP		

※本製品は予告なく、仕様変更する場合がございます。ご了承下さい。

寸法	4CH	9CH	16CH
サイズ(mm)	320(W)x255(D)x60(H)	430(W)x440(D)x88(H)	
重量	3Kg	7.5Kg	8Kg
電源	DC12V/ 3.33A	AC 100V ~ 240V, 50/60Hz	
動作温度	0°C~40°C		
動作湿度	10~80% RH		

2.1　起動画面

本機を起動します。本体の電源スイッチを押すか、リモコンの電源ボタンを押して下さい。



DVRは起動時、**NTSC**方式・**PAL**方式を自動で認識します。

※**KDR-1000**の電源をオンにする前に、カメラの映像ケーブルを接続し、カメラの電源を入れておいて下さい。

・

ユーザーを選択し、パスワードを入力後（出荷状態では設定されておりません）

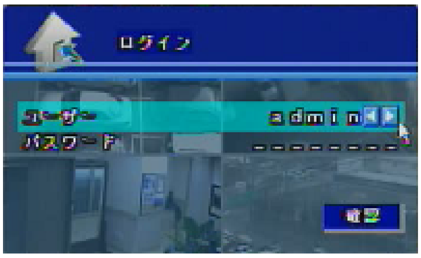
決定をクリックします。

ライブ映像が画面に映ります。

KDR-1000のシステムが起動後、ブート設定が終了します。

システムチェック終了後、本体が起動します。

2.2 ログイン



初期設定は、ユーザー名　**admin**　パスワード未入力の形になっております。

KDR-1000のログイン方法

1. を使用して、ユーザーレベルを選びます。

2.パスワードを入力する際、入力する所をクリックします。最大**8**文字まで設定可能です。

3.パスワードの数値は、ウィンドウを開いて入力します。

4.入力が終わりましたら**EXIT**をクリックをして、入力を終了します。

5.確認の所に、入力したパスワードと同じ内容を入力します。

6.入力後、確認をクリックします。

KDR-1000のシステムを決定します。

ユーザー権限で入った場合は､使用できる機能が制限されます**(**メニュー**/**システム**/**パスワード**)**

admin権限で入った場合のみ、全ての機能がご使用いただけます。

ユーザー設定**:**最大**5**人まで設定可能です。**：admin, anonymous,user1,user2,user3**

admin: ライブ**,**サーチ**,** セットアップ・シャットダウン

user1, user2,user3: ライブ・サーチ
Anonymous：ライブのみ

2.3. プログラム終了/ログアウト

KDR-1000の終了方法

1.本体前面の電源ボタン**,**またはリモコンの電源ボタンのいずれかを押して下さい。

2.終了を選び、パスワードを入力して確認を押します。

(KDR-1000からログアウトする場合**,** ログアウトを選び、パスワードを入力後　〔確認〕を押します。**)**

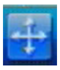
2.4.パネルメニュー

操作パネルを呼び出す場合は、映像の上でマウスボタンの右ボタンをクリックして下さい。 操作パネルを隠したい場合は、同じように右ボタンをクリックして下さい。

プログラム終了ボタン：ログアウト、プログラム終了を選択します。

システム設定ボタン:システムの詳細設定を呼び出します。

サーチボタン: サーチモードに画面を切り替えます。



PTZ コントロール用**:** 画面に **PTZ** コントロール画面を表示します。
※**PTZ** カメラ接続時のみ、コントロール画面が表示されます。

PIP ボタン:単画面表示時、ピクチャ-イン・ピクチャーモードを呼び出します。
※さらに **PIP** ボタンを押すと、表示するカメラチャンネルを切り替えます。

フルスクリーンボタン: 単画面表示時または、**4** 分割表示時、画面上矢印のあるカメラ番号をマウスでクリックします。

分割画面ボタン：単画面表示から、分割画面表示にします。

自動画面切替ボタン：単画面表示時、設定したカメラ切替時間でカメラ映像を切替ます。

2.5. システム設定

システム設定に関して、説明します。

設定は**4**つのグループにわけられます。一般設定・日付・パスワード・初期化

一般設定:システムを設定します。**OSD,**システム**ID,** チャンネル切替**,**スポットアウト

ボタンブザー**,**言語

日時設定:日時地域の設定をします。ローカル・サーバ情報の表示　※**19**ページ参照

パスワード:パスワード設定とユーザー設定をします。　※**20**ページ参照

初期化:ログ・設定・ハードディスクの初期化設定をします。　※**21**ページ参照

システム

OSD：**(**オンスクリーンディスプレイ**)**日時年月日・カメラ番号を画面上に表示するか否かを設定します。

システム**ID**

1. IDナンバーを設定します。　初期値は**ID11**になっております。

2.リモコンの**ID**設定方法

リモコンの**CNCL**ボタンを約**3**秒間押すと、**LED**が点灯します。使用する**ID**を入力して下さい　**(**例**:**　**ID**を**12**にする場合、**1**と**2**のボタンを押します**)**

3.設定完了後、**LED**が点滅し設定が完了します。

※**KDR-1000**で設定したシステム**ID**と同じ**ID**に設定しないと、同期がとれません。

チャンネル切替時間: カメラ画面を自動で切り替える時間を設定します。

1 秒～**30** 秒の間で設定可能です。

例**)**カメラ **1** を **10** 秒表示 → カメラ **2** を **10** 秒表示 → カメラ **3 …**

スポットアウト:本体スポットアウト出力からでるカメラ映像を選択します。

(1・**2**・**3**・**4** ・自動**)**

ブザー: オンにすると、リモコンボタンを押す毎にビープ音がなります。

言語:言語を切り替える時に設定します。 初期設定は日本語になっております。

※言語は、日本語・英語からお選びいただけます。

日付

日時を変える場合は、設定から日付けを選択します。

日付: 年月日を設定します。 〔年/ 月/ 日〕

時間：時間を設定します。 〔時/分/秒〕

地域：ローカルタイムゾーンを設定します。

タイムサーバ：**KDR-1000**の日時をタイムサーバの時刻とあわせます。

タイムサーバの時間設定方法

※タイムサーバ設定を有効にする場合は、ネットワークに接続している必要がございます

1.地域にあったローカルタイムゾーンを設定します。

2.タイムサーバがオフになっていると時間の同期がとれません。使用する場合は必ずオンにして下さい。

3.確認ボタンを押すと、設定が終了します。

設定後、システムが再起動します。再起動後、日付時刻の設定が完了します。

パスワード

ユーザー選択：**admin・Anonymous・user1・user2・user3**

パスワード：新しいパスワードを設定します。　数字で最大 **8** 文字まで設定可能です。

パスワード確認：新しく決めたパスワードをもう一度、入力します。入力後確認を押します

※設定したパスワードを忘れると、本体操作が出来なくなります。

パスワードを設定した場合は、必ずメモを取り大切に保管して下さい。

パスワードがわかならなくなった場合は、セキュリティ商品の性質上、復旧ができません。

ご注意下さい。

初期化

システムログ：オンにすると、システムログを初期化します。

※初期化後、システムが再起動します。

設定値：オンにすると、システム設定を初期化します。

※初期化後、システムが再起動します。

HDD: オンにすると、ハードディスクデータ（録画映像等）を初期化します。

※初期化後、システムが再起動します。

全て初期化:オンにすると、工場出荷設定に戻します。

※初期化後、本体の電源が切れます。

〔確認〕ボタンを押してから、有効になります。

※初期化をするとデータが消えてしまいます。必要なデータは前もってバックアップしてから実行して下さい。

2.6. カメラ

この段落では、カメラ設定を説明します。

カメラ設定は**4**つの異なるグループで形成されています。

チャンネル・スケジュール・カラー・**P/T/Z**・カメラ

チャンネル: チャンネル毎にビデオ・オーディオ・解像度設定ができます。※共通設定

フレーム・イベントフレーム・画質設定ができます。　※個別設定

スケジュール：指定した時刻に録画をします。　※**24**ページ参照

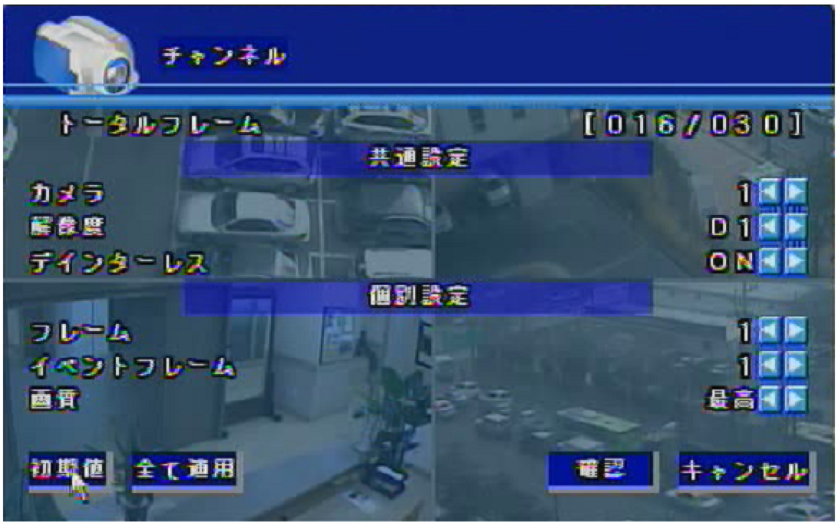
カラー: カラーメニューでカメラ・明るさ・コントラスト・彩度・色調を設定できます。

P/T/Zカメラ: PTZ カメラの設定をします。

カメラ・**P/T/Z**カメラ名・**P/T/Z**カメラ**ID**・**FLOW　CONTROL**・**BPS**・**PAR**

STOP　BIT・**DATA　BIT**　　※**26**ページ参照

チャンネル



トータルフレーム：チャンネル構成が設定されると現在の設定フレームと総最大フレームを表示します。

2つのカテゴリーを設定します。

[共通設定]:１台を設定したら、他のチャンネルにも設定が反映されます。
カメラ:設定を変えるカメラを選びます。

ボタンを使用して、次のチャンネルを表示します。

オーディオ: 記録する音声チャンネルを選びます。 **(**オン **/** オフ **)**

※サポートしているのは、１入力のみです。

解像度:カメラ毎の録画解像度を選びます。 **(D1 / Half D1 / CIF)**

D1: Max 30fps(NTSC) / 25fps(PAL)
Half D1: Max 60fps(NTSC) / 50fps(PAL)
CIF: Max 120fps(NTSC) / 100fps(PAL)

インターレス: インターレス設定を有効・無効にするか選びます。 **(**オン **/**オフ**)**

※解像度を **D1** 設定時のみ、選択可能になります。

[個別設定]:カメラ毎に設定を行って下さい。

フレーム**:** カメラ毎に録画フレームを設定します。

(注意**:** カメラ毎のフレーム合計がトータルフレームを超える事はできません。

フレームはイベントフレーム値を超える事はできません。**)**

イベントフレーム**:** 設定したフレームは、イベント録画時に適用されます。

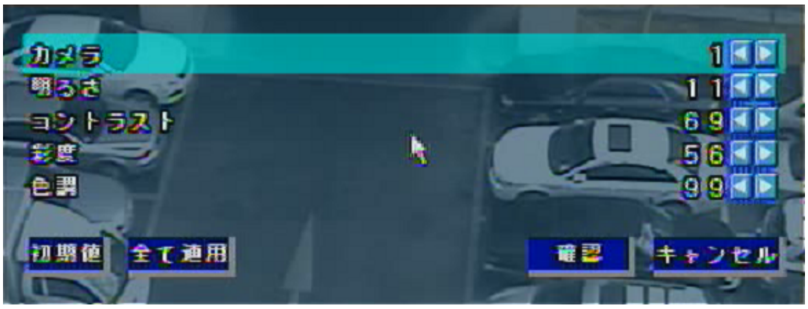
(注意**:**カメラ毎のフレーム合計がトータルフレームを超える事はできません。

品質: 録画品質を選びます。最高・高画質・普通・低画質・最低画質・ネットワーク低

6 種類から選択可能です。

注意：ネットワークからみた画質のイメ**-**ジは最低画質　になります。

カラー



カメラ:カラーセッティングを変えるカメラナンバーを選択します。

明るさ:カメラの明るさ調整を行います。 ボタンで数値を調整します。

コントラスト:カメラのコントラスト調整を行います。 ボタンで数値を調整します。

彩度：カメラの彩度調整を行います。 ボタンで数値を調整します。

色調: カメラの色調調整を行います。 ボタンで数値を調整します。

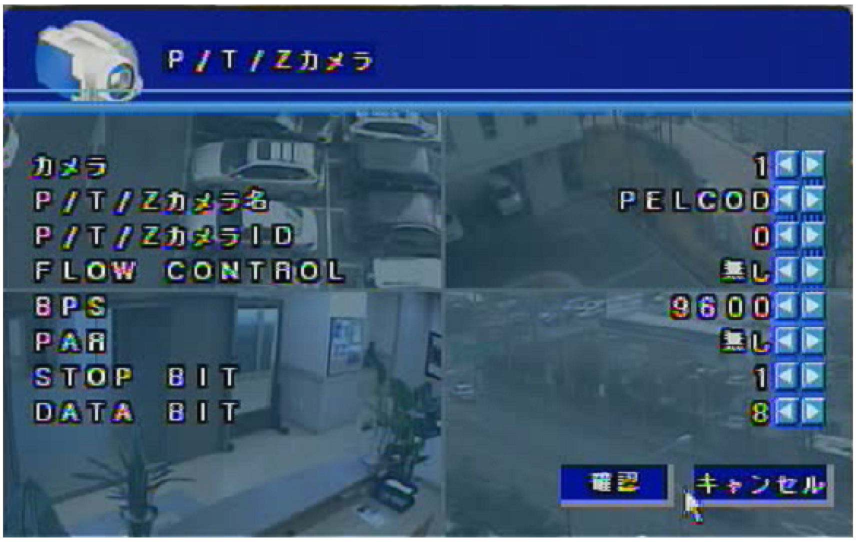
: 全ての値が、初期設定に戻ります。

: 設定した値を、全てのカメラに適用します。

: 確認ボタンを押すと、変更した値を保存します。

: キャンセルボタンを押すと、変更した値を変更前に戻します。

PTZ カメラ設定



カメラ:PTZ 設定をする、カメラチャンネルを選びます。

PTZ カメラ名:使用するカメラのプロトコルを ボタンで選択します。

PTZ カメラ ID: カメラに設定されているカメラ **ID** を ボタンで選択します。

FLOW CNTL: ボタンでフローコントロール値を選択します。

BPS: カメラに設定している **BPS** と同じ値にします。 ボタンで選択します。

PAR: ボタンで **PTZ** のパリティーを選択します。

STOP BIT: PTZ カメラに使うストップビットを ボタンで選択します。

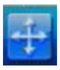
DATA BIT: PTZ カメラに使うデータビットを ボタンで選択します。

(注意**:**右記、値を変える事は推奨しておりません。 **Flow Control, Parity, Stop BIT Data BIT)**

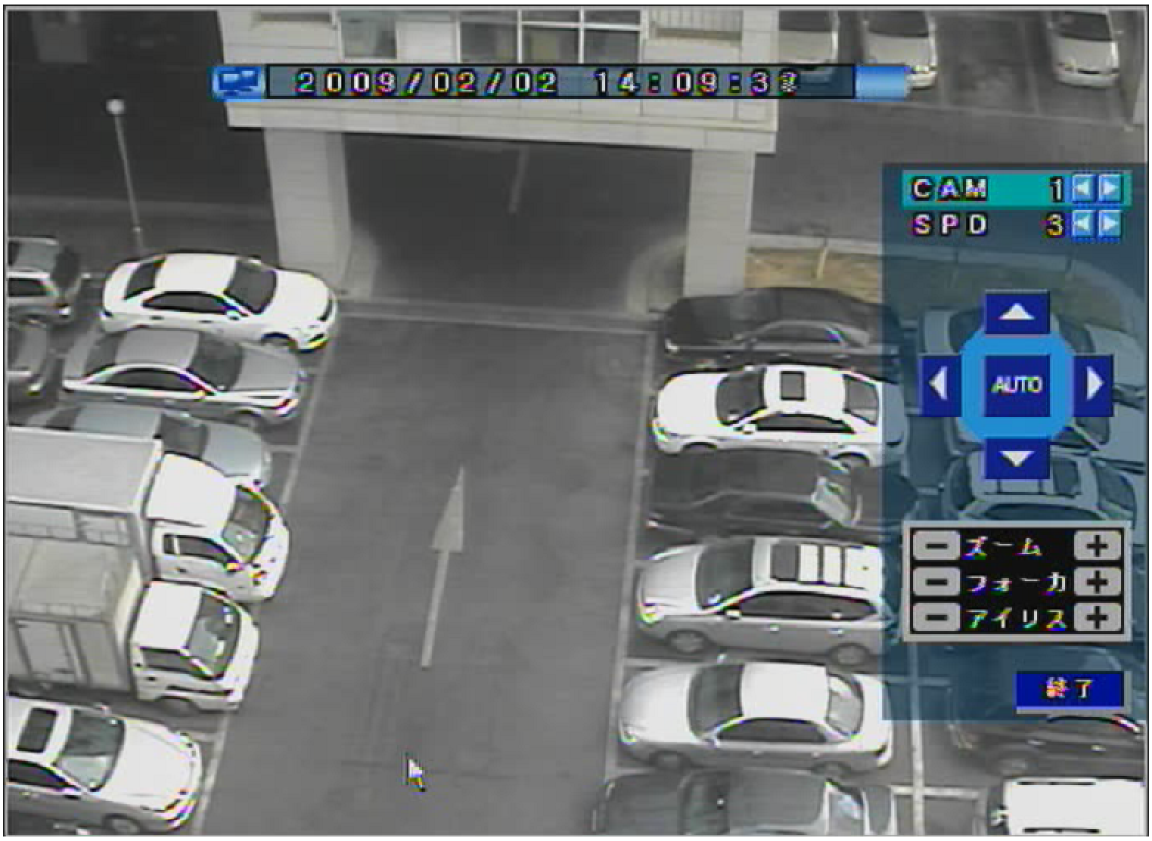
設定する際は、**PTZ** カメラメーカーのマニュアルを読みながら設定を行って下さい。

PTZ コントロール方法

1. PTZ コントロールを選択します。

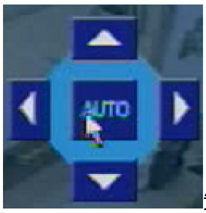
2. PTZ ボタン  をおすと、コントロールメニューがでてきます。リモコンの **PTZ** を押して下さい。

PTZ コントロール画面



CAM: 動かしたいカメラを ボタンで選択して下さい。

SPD:動くカメラのスピードを ボタンで選択して下さい。**1**～**6** の間で設定できます。



矢印の方向をクリックするとカメラが、その方向へ動きます。**AUTO:** ボタンを押すと、カメラがオート操作で動きます　**(**注意**:** カメラがオートモードをサポートしていない場合は、オートモードでは動きません。

ズーム**:** ズームイン・ズームアウトします。

フォーカス: カメラのフォーカスを調整します。

アイリス: カメラのアイリスを調整します。

終了: PTZメニューを終了します。

2.7. イベント設定

イベント設定は**3**つのグループからできています。センサー・モーション・ビデオロス

センサー:センサーイベントを設定します。

(センサーモード；センサー・タイプ・アラーム・警報音・持続時間**)**

モーション: モーションイベントを設定します。

(モーションモード：アラーム・感知エリア・感度**)**

ビデオロス: ビデオロス設定をします。

(ビデオロス：アラーム音の有無**)**

センサー

センサー: 設定するセンサーを選択します。

ボタンを使って、次のセンサーを選択します。

モード:センサーモードを設定します。

(オン **/** オフ：オフにした場合は、反応があってもアラーム・警告が動作しません。**)**

タイプ:センサータイプを選択します。 **(N.C:** オフ型 **b** 接点**/ N.O:** オン型 **a** 接点**)**

アラーム: アラーム設定をします。

(オン **/**オフ**,** センサーモードがオンの時のみ、設定できます。**)**

(サポートしているのは、**1**系統です。**)**

警報音: 本体内蔵ブザーから音を鳴らすか設定します。

イベントが起こった場合、音が鳴ります。（設定がオンの時に音が鳴ります。）

持続時間:アラームがオンの時、外部接続した機器への出力時間を設定します。

(1~10 秒の間で設定ができます**)**

モーション

モーション設定は、画面上に動きがあった際に録画をする設定です。モーション録画時のフレームはイベントフレーム設定時のフレームが適用されます。

チャンネル: モーションセッティングを変えるチャンネルを選びます。

ボタンを使って、次のチャネルを選びます。

モード：モーション検知設定をします。モードがオフになるとアラームと警告は動作しません。

モーションエリア: ボタンを押して、検知エリアを設定します。

次のページで、詳細な設定ができます。

モーション感度: モーション録画の感度を設定します。 **(**高 **/**普通 **/**低**)**

アラーム:アラームセッティングをします。使用する場合はオンにします。

(サポートしているの、**1**系統のみです。**)**

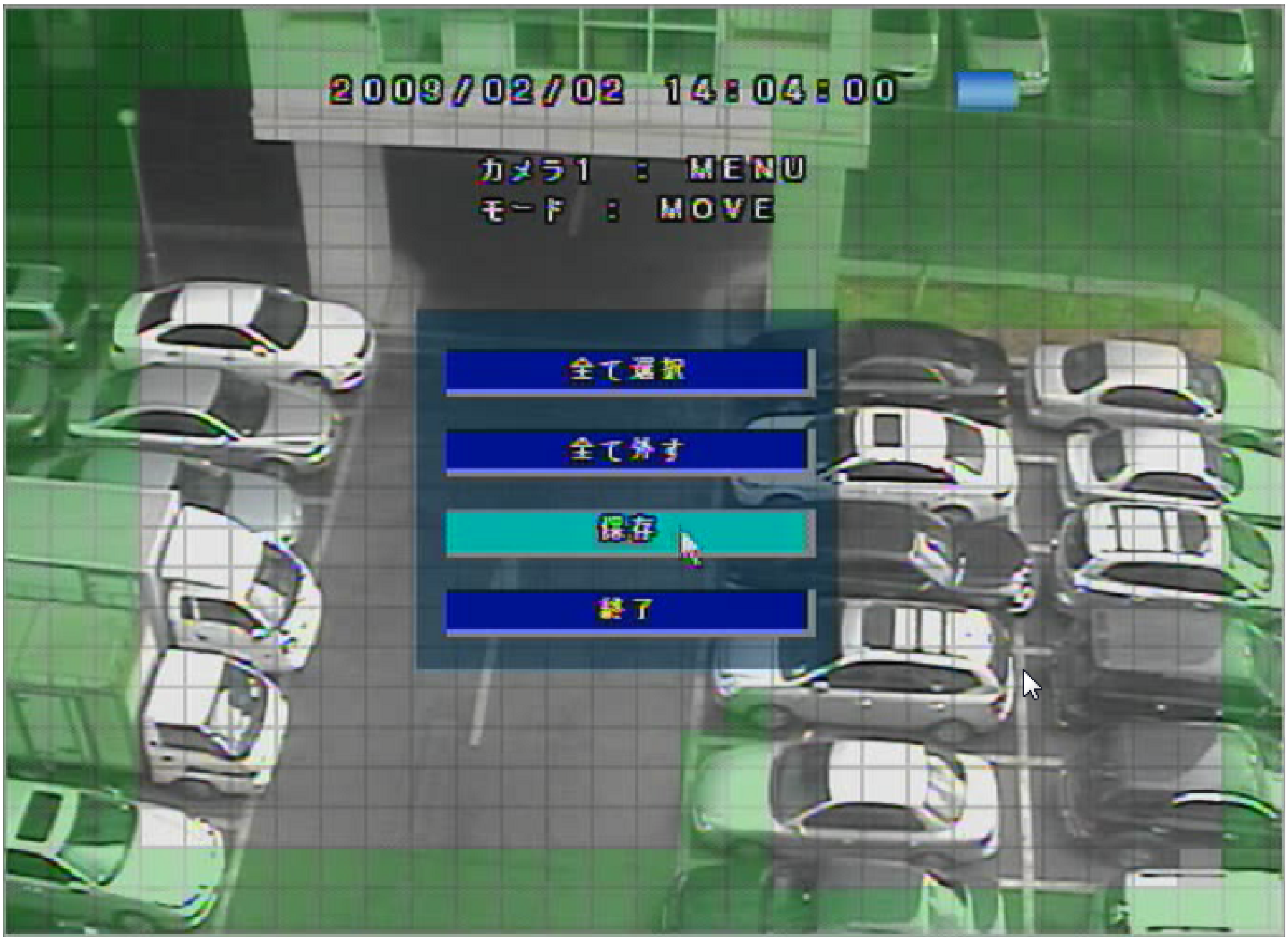
警報音: 本体内蔵ブザーから音を鳴らすか設定します。

イベントが起こった場合、音が鳴ります。（設定がオンの時に音がなります。）

継続時間: アラームがオンの時、外部接続した機器への出力時間を設定します。

(1~10 秒の間で設定ができます**)**

モーションエリア



モーション感知エリアの設定方法

1.マウスを使って、検知するエリアを設定します。

2.ドラッグ **&**ドロップで検知エリアを設定します。**(**範囲設定 **/**範囲解除**)**

グリーン色のエリア:モーション設定されていないエリアになります。

透明なエリア：選択したモーション検知区域になります。

マウスの右ボタンをクリックをするとメニューがでます。選択・選択しない・保存・終了

全て選択: エリアの全てを選択します。

全て外す: 選択したエリアの全てを解除します。

保存:設定したエリアを保存後、モーションメニューを終了します。

終了:設定をキャンセルし、モーションメニューを終了します。

※モーション設定エリアは使用するモニターによって若干変わります。

ビデオロス

チャンネル: 設定するカメラチャンネルを選びます。

ボタンを使って、次のチャンネルを選びます。

モード:ビデオロス設定のオン・オフを設定します。

(オフになっていると、アラーム設定が動作しません。**)**

アラーム: アラーム出力の設定をします。モーション反応時、外部に接続した機器を動かす場合は本機能をオンにして下さい。(オンの時のみ有効です。**)**

警報: 本体内蔵ブザーから音を鳴らすか設定します。

カメラ映像が途絶えた場合、音が鳴ります。(設定がオンの時に音が鳴ります。)

継続時間: アラームがオンの時、外部接続した機器への出力時間を設定します。

(1~10 秒の間で設定ができます**)**

2.8. ネットワーク設定

この章では、ネットワーク設定に関して紹介します。

ルーターとの接続

（**1**）本機の背面の**LAN**ポートに**LAN**ケーブル（ストレート）を接続します。
（**2**）そのケーブルの反対側をルーターの**LAN**ポートに接続します。
（**3**）以上で接続完了です。

TCP/IP: TCP/IP の設定をします。

(セットするのは、 設定・ **IP** アドレス・ゲートウェイ・サブネットマスク・**DNS)**

ポート: ポート番号の設定をします。

(WEB・再生・ライブ画面用のポート設定をします**)**

DDNS: DDNS サーバーのセッティングをします。

(モードの **ON/OFF**・タイムサーバー・ポート・ドメイン・間隔の設定をします**)**

CMS：集中管理システムのセッティングをします。
（モード・**IP**アドレス・ポートの設定をします）

イベントフィルター：
（システムスタート・電源オフ・設定変更・ログイン・ログアウト・センサー感知・
モーション・ビデオロス）

TCP/IP

IP 構成: IP アドレスのタイプを設定します **(DHCP IP** アドレス・固定 **IP** アドレス**)**

※**IP アドレス: IP** アドレスを手動で設定する場合は、固定 **IP** アドレスを選択して下さい。

ゲートウェイ:ゲートウェイを設定する場合は、固定 **IP** アドレスを選択して下さい。

サブネットマスク:サブネットマスクを設定する場合は、固定 **IP** アドレスを選択して下さい。

DNS: DNS アドレスを設定する場合は、固定 **IP** アドレスを選択して下さい。

(注意: DHCP アドレスを選択した場合、**IP** アドレス・ゲートウェイ・サブネットマスク

DNS は設定できません**)**

ポート

WEB:Web ブラウザーからアクセスする際に必要なポートです。

初期設定は **80** になっております。

※**80** ポートは、ご使用されている環境化によってはすでに使用済みの可能性があります。

その場合は、**50000** ポートに設定して下さい。

再生:Web ブラウザーからアクセスして録画映像を見る際に必要なポートです。

初期設定は **9091** になっております。

ライブ画面: ブラウザーからアクセスしてライブ映像を見る際に必要なポートです。

初期設定は **9092** になっております。

※ポートは **3** つ全て、開放する必要があります。

DDNS

DDNS サービスは、固定 **IP** アドレスを取得する事なくインターネットを介して遠隔地から映像を見ることができるサービスです。

モード: DDNS を使用する場合はオンにします。 **(**オン**/**オフ**)**

タイムサーバー:使用する **DDNS** サーバーの **URL** を表示します。 **(www.dvrdns.net)**

ポート: 初期設定は **65500** ポートになっております。〔推奨〕

ドメイン:DNS サーバーで登録した **ID** を入力します。

間隔:インターバルタイムを設定します。（**1~60** 秒）システムが設定値どおり **DDNS** サーバーに **IP** アドレスの更新にいきます。

DDNS サーバーの登録の仕方

1. **www.dvrdns.net”**のサイトにアクセスします。

2.Language（言語）は**“English”**を選択します。

3.“Registering New Domain”をクリックしてドメインを作成します。

4.domain name and click “Register” button”をクリックします。

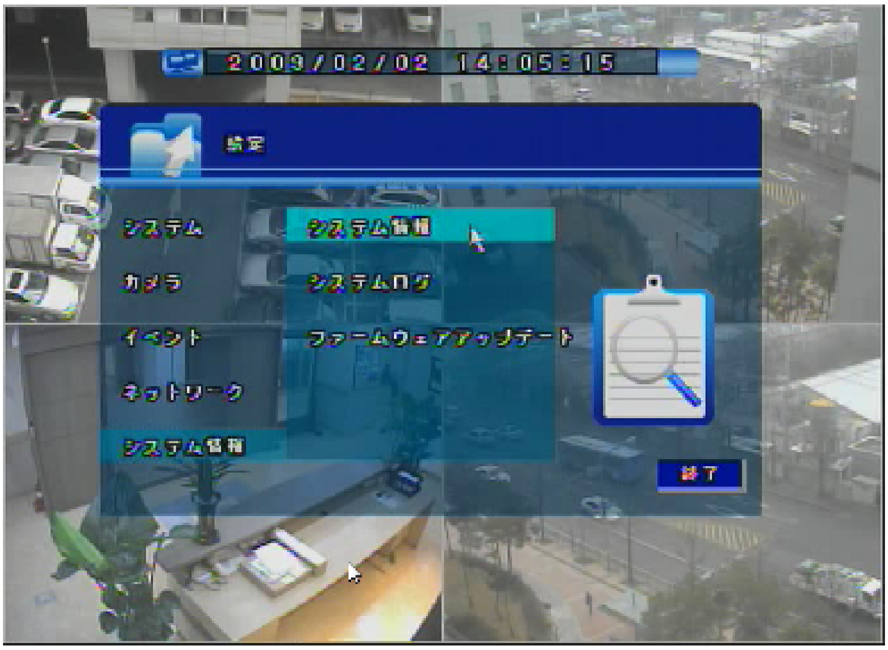
5. “Updating IP address”をクリックします。

6.KDR の **IP** アドレスを入力して **DVR and click “Update” button** をクリックします。

7.KDR の **DDNS** メニュ——で **DDNS** 設定をします。

2.9.システム情報

本章では、メニューの紹介とファームウェアアップグレートに関して説明します。

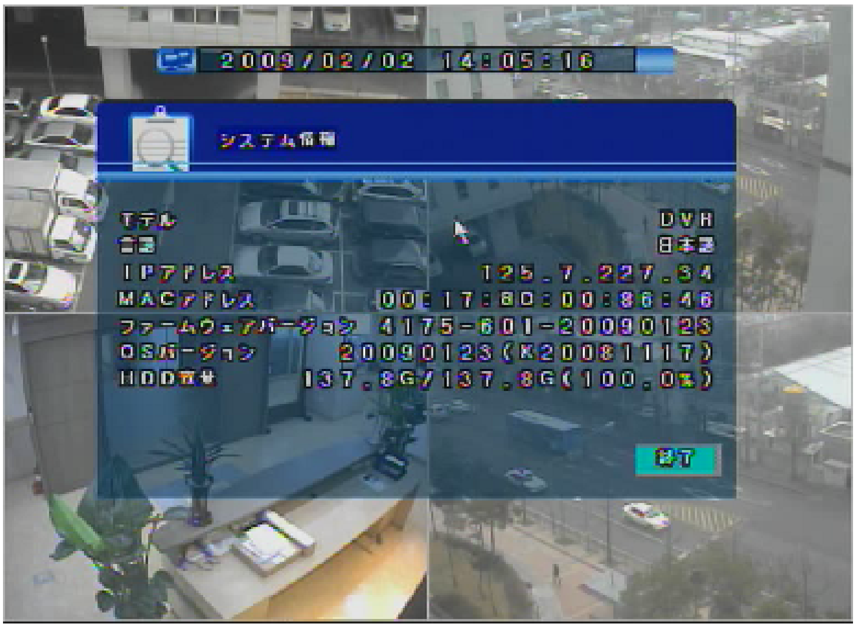


システム情報: モデル名、**IP**アドレス等を表示します。

システムログ:システムログのデータを表示します。

ファームフェアアップデート:ファームウェアアップグレートをする際に開きます。

システム情報



モデル：**DVR**

言語: 選択した言語を表示します。

IP アドレス: 設定した**IP**アドレスを表示します。

MAC アドレス: 製品に設定されている**Mac**アドレスを表示します。

ファームウェアバージョン:現在のバージョンを表示します。

(F/W バージョン**, H/W** バージョン**,**作成日時が表示されます**)**

OSバージョン**:**商品の**OS**バージョンを表示します。 **(**ファイル名の日付をご確認下さい**)**

搭載HDD容量:使用容量 /トータル容量 **(HDD**使用率 **)**

システムログ

本メニューでは、システムログの表示方法に関して説明します。

: 初日のログを表示します。

: 1日前のログを表示します。

: 次の日のログを表示します。

: 最後のログを表示します。

- / +: 前のページのログデータを表示します **/** 次のページのログデータを表示します。

ログリスト:システム起動・設定変更・通常終了・ログイン・ログアウト・ディスクフル
センサー・アラーム・モーション検知・異常終了・ビデオロス

ファームウェアアップデート

ファイル**:**アップデートするファイルを選びます。

(注意：アップデートファイル名、言語を確認して下さい。**)**

アップグレード手順

1. 新しいファームウェアをルートフォルダにいれた**USB**メモリを**DVR**前面の**USB**端子に接続します。

2. ファームウェアを選択して確認ボタンをクリックします。

3.アップグレードが完了すると、**DVR**は再起動します。

※本機能は、**USB**メモリを接続していないと起動しません。

2.10. サーチ方法

アクティブモードはパネル のボタンをクリックします。リモコン使用時は **search** ボタンを押します。

時間軸:ディスプレイに録画データ・日時を表示します。

イベントサーチ: イベントログから再生するファイルを選択します。

ライブ: ライブ画面に戻します。

バックアップ:記録した映像のバックアップを始めます。

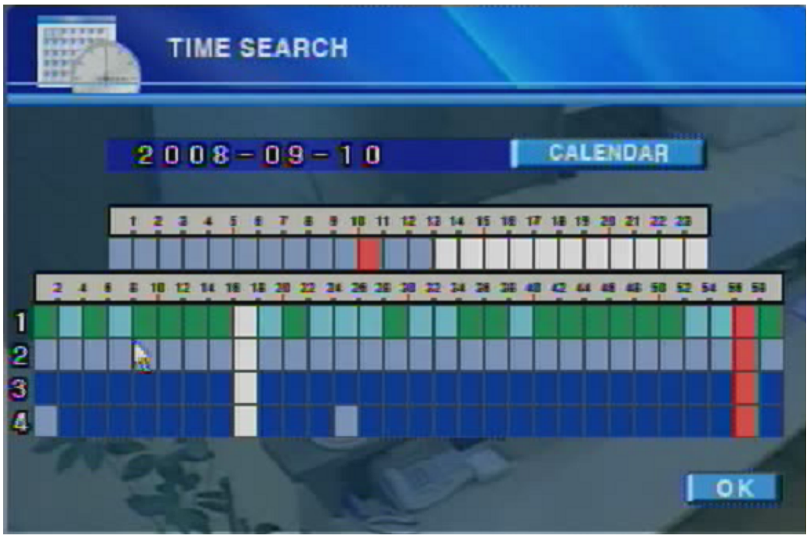
フレーム再生: コマ送り再生を始めます。 / 次のコマに進みます。

早送り再生: 巻き戻し /早送り

再生:通常再生 / 逆再生

停止: 再生を止めます。

時間検索 / カレンダー



時間検索:再生したい時間、カメラを選択し、〔確認〕ボタンをクリックします。

カレンダー:再生したい日付を選択し、確認ボタンをクリックします。時間検索モードに移行します。

時間検索使用方法:

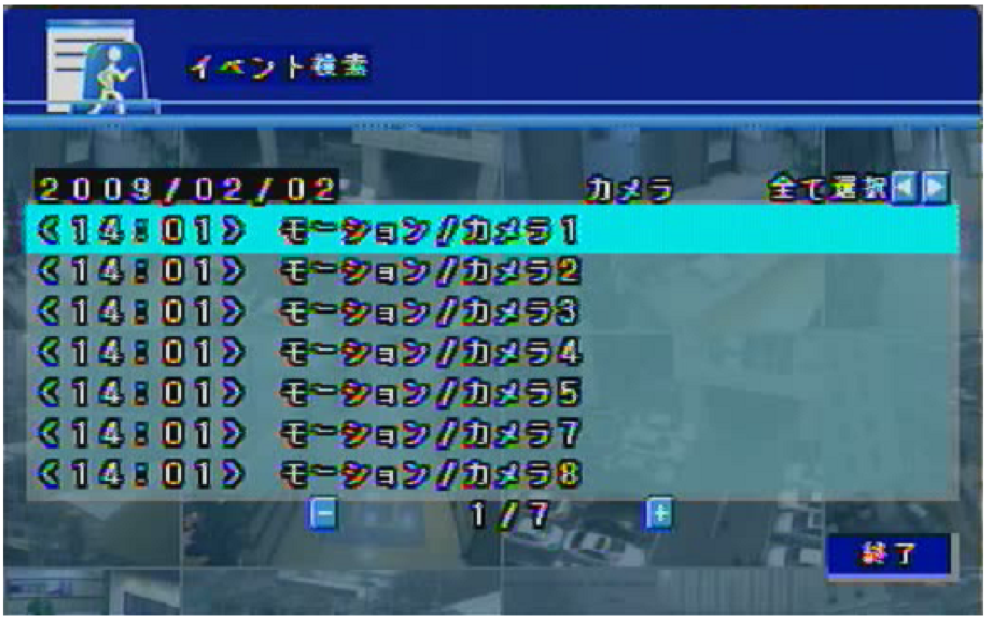
1. ボタンを押してカレンダーモードに入ります。

2.

ボタンを押してカレンダーを開きます。再生したい日付を指定すると時間検索モードに移ります。

3. 時間検索モードで再生したい時間を選び、〔確認〕ボタンを押すと再生を始めます

イベントサーチ



カメラ:サーチしたいカメラを選びます。

(カメラ**1 /** カメラ**2** カメラ**3 /**カメラ**4 /** 全て**)**

イベントリスト: モーション・センサー・ビデオロス

録画表示のマス目は、全 **6** 種類です。

・イベント録画

・録画なし

・イベント録画**+**オーディオ

・常時録画

・複数カメラ録画

・常時録画**+**オーディオ

バックアップ

バックアップ装置:USB

カメラ:バックアップするカメラナンバー（**1**～**4**）を選びます。

録画開始日時：録画を始めた日時を表示します。

録画終了日時；最後の録画された日時を表示します。

バックアップ開始ポイント: バックアップを始める日時を指定します。

バックアップ終了ポイント: バックアップを終了する日時を指定します。

バックアップ手順:

1. バックアップしたい、開始日時・終了日時を指定します。

2. 確認ボタンを押すと、バックアップを開始します。

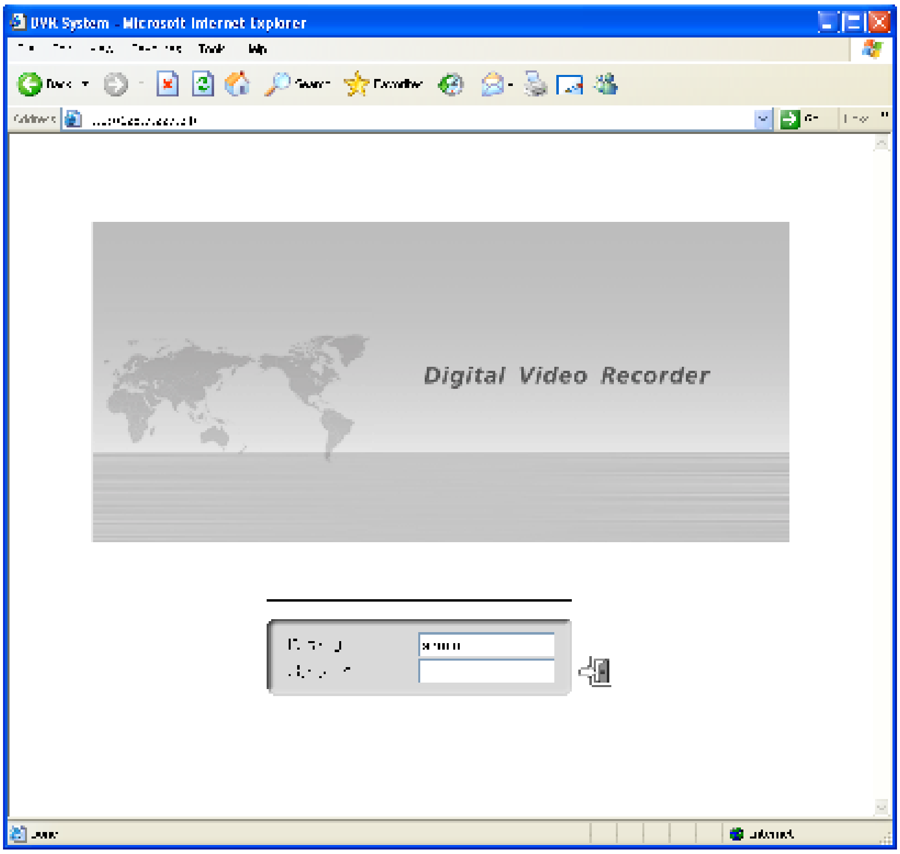
バックアップを始めると、データ容量を最初に計算します。計算後自動で
バックアップが開始します。

(注意**: USB** メモリに十分な空きスペースが無い場合、バックアップ作業が
キャンセルされます**)**

※一度にコピーできる容量は、**2GB** までになります。

メニューは性能向上のため、予告なく変更する場合がご　ざいます。

3.1. ログイン



1. **DVR** サーバーに設定した **IP** アドレスをインターネットアドレスバーに入力します。
2. **ActiveX** コントロールを最初にインストールします。
3. ユーザー**ID** とパスワードを入力します。入力したら、ログインボタンをクリックします

ユーザー種類

Admin: 全ての設定ができます。**;**ライブ・サーチ・設定が可能です。

user1, user2, user3 ;ライブ・サーチ

Anonymous：ライブ

※**KDR-1000** にログインしているユーザーでは、接続できません。

例：**DVR** に **Admin** でログインしている場合は、ネットワーク側からは **Admin** では

ログイン　出来ません。

3.2 ライブモード

スナップショット：ライブで表示されている画像をスナップショットで撮ります。

設定：クリックで **KDR** メニューを設定します。

Use　Audio:ライブ時に、音声を出すか選択します。

ズーム: ズームイン・アウト

アイリス:アイリスをコントロールします。

フォーカス:フォーカスイン・フォーカスアウト

パン・ティルトコントロール：カメラを上下左右動かします。

Speed:PTZ コントロールのスピードを設定します。

検索:サーチモードを呼び出します。

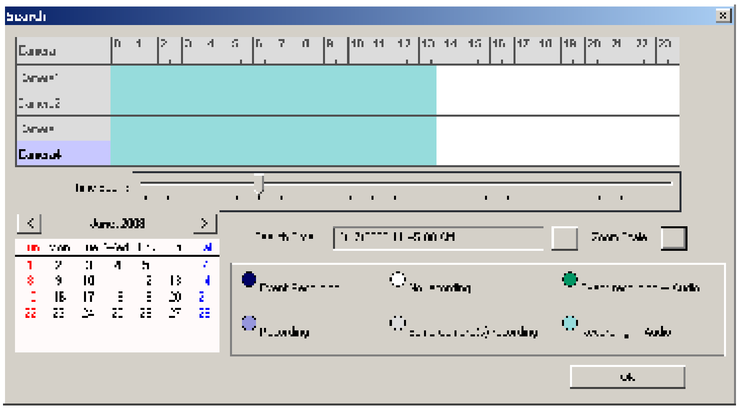
ログアウト**:WEB　DVR** からログアウトします。

3.3　サーチモード

保存**:** パソコンへデータを保存します。 **(AVI・ BMP・JPEG**フォーマットから選択**)**

日付/時間**:** サーチ画面が開きます。日付と時間を選択します。

Use Audio: オーディオ設定をオンにします。



プレイバックコントロールボタン
（再生・巻き戻し・早送り・逆再生・停止**)**

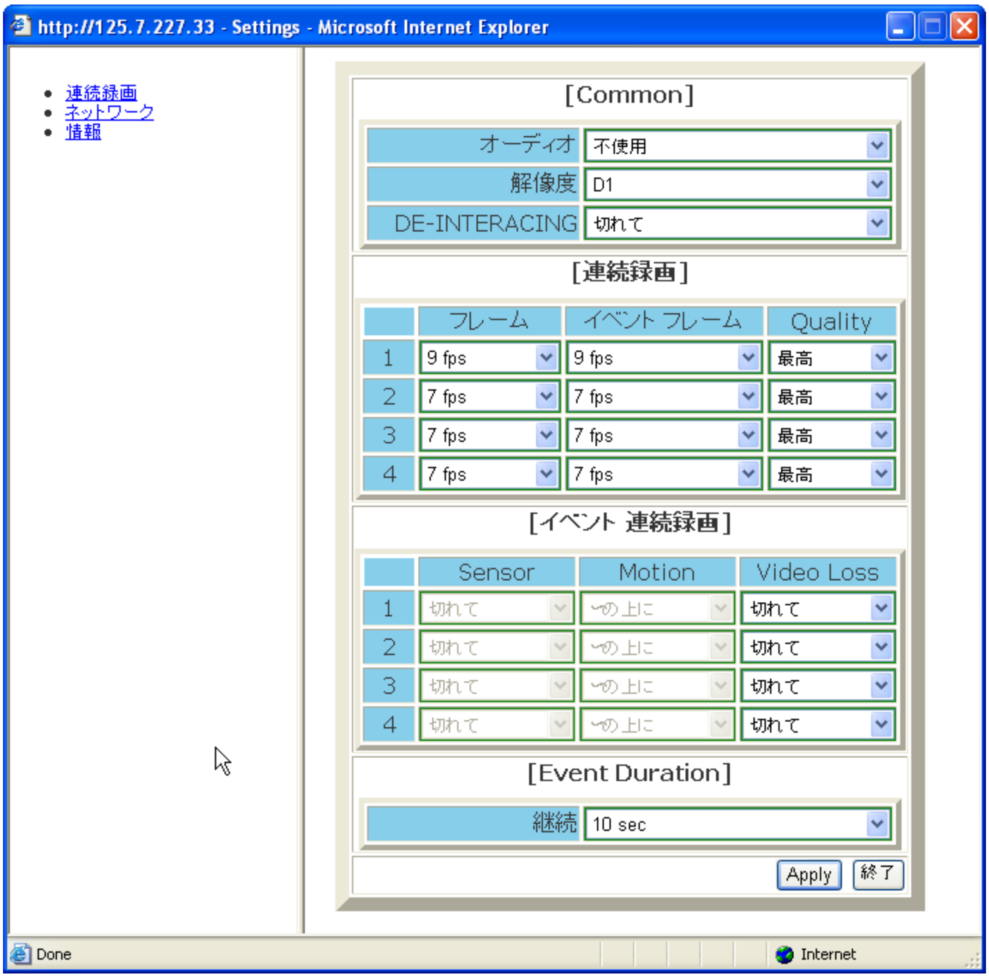
ライブ画面**:** ライブモードを表示します。
ログアウト**: WebDVR**からログアウトします。

3.4 セッティングモード

設定　ボタンをクリックすると設定が画面が開きます。

(注意:adminユーザーのみセッティング画面にアクセスできます)

■ 4CH 録画



レコーディング設定確認；　録画 /イベント録画

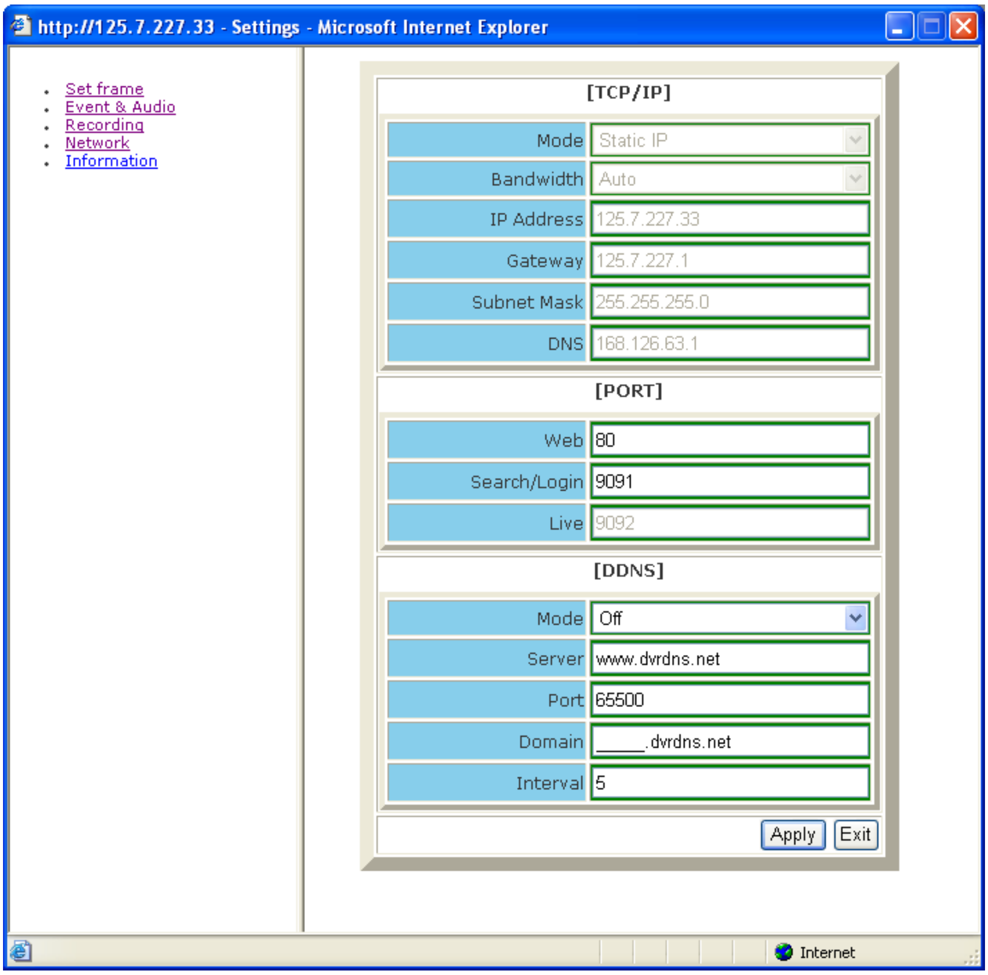
共通設定；全てのカメラへの共通設定をします。

録画時カメラ毎セッティング: フレーム・イベントフレーム・画質

イベント録画時カメラ毎セッティング：センサー・モーション・ビデオロス

セッティングを変えたら、**Apply**ボタンを押すと保存して設定が反映されます。

4CH/9CH/16CH ビューア画面



ネットワークシステムの確認ができます。 **TCP/IP / PORT / DDNS**

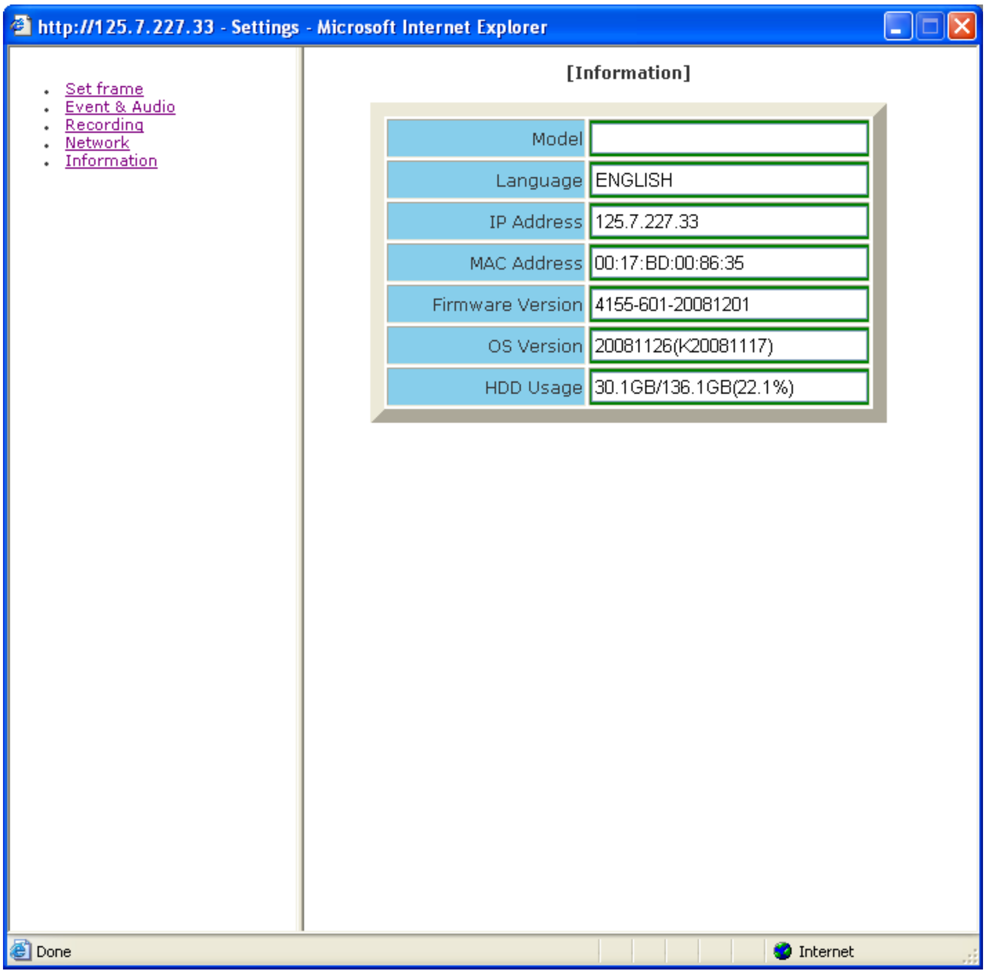
TCP/IP: TCP/IP設定の確認ができます。

PORT: PORT設定の確認・変更ができます。

DDNS: DDNS設定の確認・変更ができます。

各項目を変更した後に、**Apply**ボタンを押す事により設定が反映されます。

4CH/9CH/16CH – システム情報



KDR1000のシステム設定を表示します。

モデル　・言語・**IP**アドレス・**Mac**アドレス・ファームウェアバージョン
OSヴァージョン・ハードディスク使用量

コネクター配列

アラーム入出力機器を接続する際の配列は以下の通りになります。

番号	機能	説明
1	**RS-485　TX-**	**RS-485**を使って遠隔操作する際に使用します。
2	**RS-485　TX+**	**RS-485**を使って遠隔操作する際に使用します。
3	アラーム出力〔**COM**〕	外部機器につなげる際のアラーム出力〔**COM**〕です。
4	アラーム出力〔**NC**〕	外部機器に接続するアラーム出力〔**NC**〕です。**DC24V　1A**以下で使用下さい。
5	アラーム出力〔**NO**〕	外部機器に接続するアラーム出力〔**NO**〕です。**DC24V　1A**以下で使用下さい
6	センサー入力〔**COM**〕	外部アラームを接続する際のセンサー入力〔**COM**〕です。
7	**4ch**センサー入力	**4ch**に外部アラームを接続する際に使用します。
8	**3ch**センサー入力	**3ch**に外部アラームを接続する際に使用します。
9	**2ch**センサー入力	**2ch**に外部アラームを接続する際に使用します。
10	**1ch**センサー入力	**1ch**に外部アラームを接続する際に使用します

トラブルシューティング

『故障かな？』と思ったら修理に出す前に以下の事をご確認下さい。

原因	解決方法
電源が入らない	電源コード・アダプターが正しく取り付けられているかご確認下さい。
マウス・リモコンを押しても反応がしない	マウスが本体背面の**USB**端子に接続されているかご確認下さい。 前面の**USB**に接続した場合、マウス操作は効きません。 リモコンに電池が装着されているかご確認下さい。 リモコンの**ID**は、本体と一緒になっているかご確認下さい。 もう一度、赤外線受光部付近でボタンを押して下さい。
ハードディスクを認識しない。	接続されているアダプターが付属の**DC12V**アダプターがご確認下さい。 **5**分ほど電源をオフにして再度、本機の電源を入れて下さい。 それでも直らない場合は販売店までお持ち下さい。
USBフラッシュメモリを認識しない。	パソコンでそのメモリーを**FAT32**にフォーマットして下さい。 そのメモリーが互換性互換性のあるメモリーか　ページをご確認 下さい。
カメラの映像が表示されない	カメラの電源をチェックして下さい。 カメラのレンズチェックして下さい。 本機とモニターを接続しているケーブルをチェックして下さい。 本機とカメラを接続しているケーブルをチェックして下さい。
録画映像が表示されない。	ハードディスクが認識しているか確認して下さい。
動作検知録画が動作しない。	モーション録画の項目がオンになっているか確認して下さい。 モーション録画の範囲の項目設定を確認して下さい。
録画映像が再生できない	見たい時刻のファイルがあるか各種検索で確認して下さい。
音声付の映像がバックアップできない。	音声はオーディオ　オンに設定しているカメラのファイルに保存されます。　※カメラ**1**の場合、カメラ**1**の録画ファイルに記録されます。
IEで**DVR**の映像が見れない。	**ActiveX**のメッセージが表示された時に許可にして下さい。
アップグレードができない	**USB**メモリーが**FAT32**でフォーマットされているかご確認下さい。 アップグレードファイルが正しいかご確認下さい。
USBフラッシュメモリを認識しない。	パソコンでそのメモリーを**FAT32**にフォーマットして下さい。 そのメモリーが互換性互換性のあるメモリーか　ページをご確認 下さい。

録画時間

付属のハードディスクでの録画時間を記したのが下記の表になります。
録画時間はコマ数と画質によって変化します。

動きが少ない場合

解像度	画質	1秒間のHDD使用量 ※カメラ1台	1日のHDD使用量 ※カメラ4台	最大録画日数 ※1TB使用時
CIF・120fps	最高画質 高画質 標準 低画質 最低画質	124KB 56KB 24KB 20KB 16KB	40.87GB 18.46GB 7.91GB 6.59GB 5.27GB	24.4日 54.1日 126.4日 151.7日 189.7日
Half　D1 60fps	最高画質 高画質 標準 低画質 最低画質	168KB 104KB 88KB 28KB 24KB	55.37GB 34.28GB 29.00GB 9.23GB 7.91GB	18.0日 29.1日 34.41日 108.3日 126.4日
D1　30fps	最高画質 高画質 標準 低画質 最低画質	175KB 120KB 92KB 60KB 54KB	57.68GB 39.55GB 30.32GB 19.78GB 17.80GB	17.3日 25.3日 32.98日 50.5日 56.1日

注意：録画時間は録画映像により多少変化いたします。
上記の録画時間を保証するものではございません。
あくまで目安としてお考え下さい。

録画時間

付属のハードディスクでの録画時間を記したのが下記の表になります。
録画時間はコマ数と画質によって変化します

動きが多い場合

解像度	画質	**1**秒間の**HDD**使用量 ※カメラ**1**台	**1**日の**HDD**使用量 ※カメラ**4**台	最大録画日数 ※**1TB**使用時
CIF・120fps	最高画質	**172KB**	**56.69GB**	**17.6**日
	高画質	**60KB**	**19.78GB**	**50.5**日
	標準	**36KB**	**11.87GB**	**84.2**日
	低画質	**28KB**	**9.23GB**	**108.3**日
	最低画質	**24KB**	**7.91GB**	**126.4**日
Half　D1 60fps	最高画質	**182KB**	**59.99GB**	**16.6**日
	高画質	**144KB**	**47.46GB**	**21**日
	標準	**92KB**	**30.32GB**	**32.9**日
	低画質	**62KB**	**20.43GB**	**48.9**日
	最低画質	**34KB**	**11.21GB**	**89.2**日
D1　30fps	最高画質	**195KB**	**64.27GB**	**15.5**日
	高画質	**147KB**	**48.45GB**	**20.6**日
	標準	**106KB**	**34.94GB**	**28.6**日
	低画質	**73KB**	**24.06GB**	**41.5**日
	最低画質	**65KB**	**21.42GB**	**46.6**日

注意：録画時間は録画映像により多少変化いたします。
　　　上記の録画時間を保証するものではございません。
　　　あくまで目安としてお考え下さい。

付録　ルーター設定（**WAN**設定）

インターネット接続（**WAN**接続）をする場合はルーター設定をしていただくことになります。

注意**1**：ルータ**-**設定は各メーカーの機種により設定方法が異なります。

2：ルーターに関しましてはお使いのルーターのメーカーにお問い合わせ下さい。

3：当社はルーターに関するサポートは一切行っておりません。

参考としてバッファローのブロードバンドルーター　『**BBR-4HG**』の設定方法を記します。

KDR-1000をインターネットに接続するには『固定**IP**アドレスの取得』（推奨）か

『ダイナミック**DNS**のアカウント取得』のいずれか一点が絶対条件になります。

ダイナミック**DNS**とは

固定**IP**アドレスを取得する事なくインタ**-**ネットサービスプロバイダ**-**から動的に割り振られる

グルーバルアドレスを使用して、固定**IP**の様に全世界から接続する事ができます。

代表的なダイナミック**DNS**を提供している所は**DynDNS.org**（英語サイト）や各インターネットサービスプロバイダ**-**のサービスにもありますが、本機は画像の転送主体で大容量のデータ転送を行いますのでダイナミック**DNS**を使用する事は極力おやめ下さい。

付録　ルーター設定（固定**IP**アドレス設定）

STEP1：本体〔**KDR-1000**〕の設定

（**1**）メニューを立ち上げ、ネットワークの**TCP-IP**を選択します。

TCP-IP設定が表示されます。

ネットワーク	
設定	固定**IP**
IP アドレス	**192.168.001.015**
ゲートウェイ	**192.168.001.254**
サブネットマスク	**255.255.255.000**
DNS	**192.168.001.254**

（**2**）**IP**アドレスにローカル**IP**アドレスを入力して下さい。

192.168.001.015を入力します。

（**3**）あなたの加入しているインターネットサービスプロバイダ**-**から提供されている

ゲートウェイ、ネットマスク、**DNS**を入力して下さい。

（**4**）入力が終わったら確定を押します。

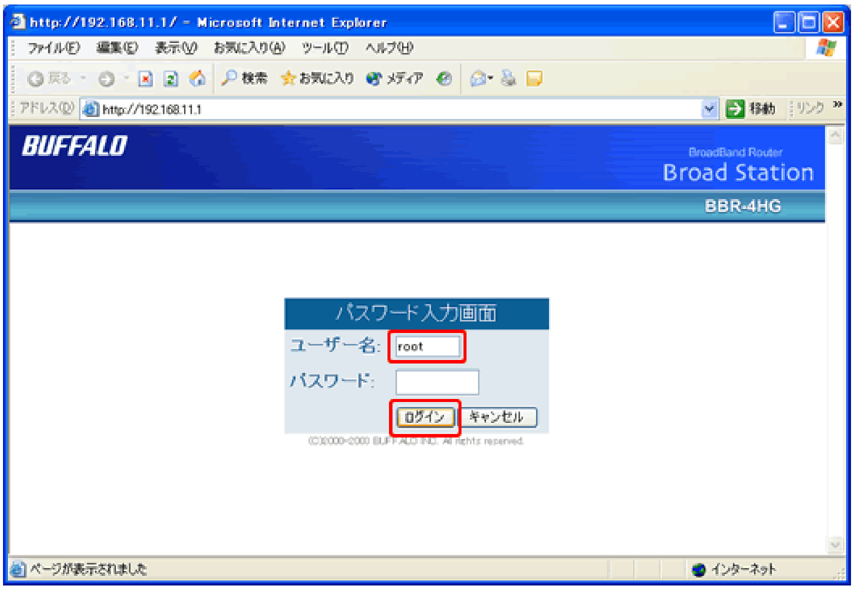
（**5**）次にネットワークのポートを選択します。ポート設定が表示されます。

付録　ルーター設定（固定IPアドレス設定2）

STEP2：ルーター〔固定IPアドレス〕の設定

〔1〕ルーターのアドレスを入力して下さい。

注意：詳しくはお使いのルーターの説明書をお読み下さい。

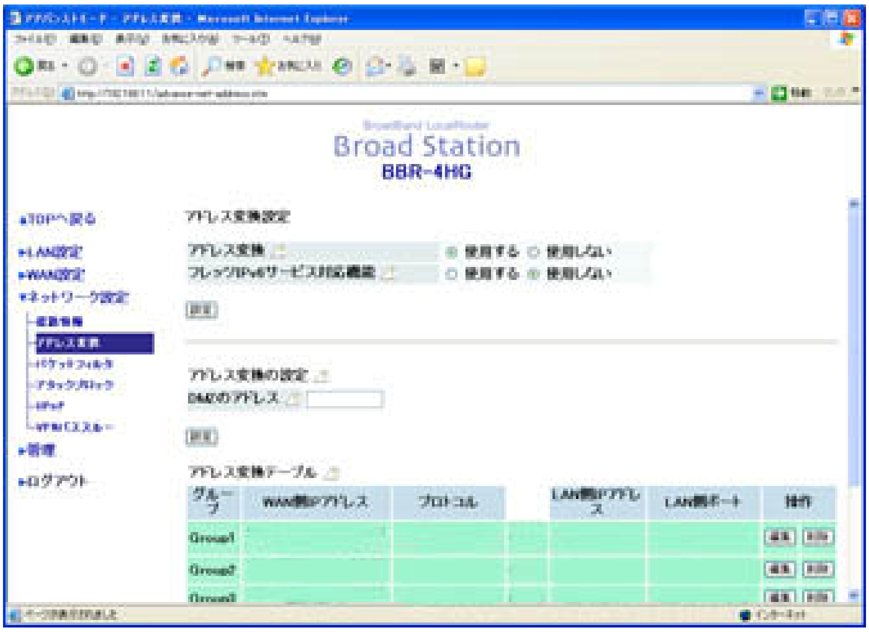


〔2〕ユーザー名・パスワードを入力して**OK**ボタンをクリックして下さい。

ユーザ-名の欄に〔**root**〕と入力し〔ログイン〕をクリックします。

〔3〕アドバンストをクリックします。

〔4〕　〔ネットワーク設定〕→〔アドレス変換〕→〔アドレス変換ルールを入力〕をクリックします。



〔5〕　アドレス変換を使用するにチェックして〔設定〕ボタンを押します。

〔6〕任意のポートに**80**を入力します。　**LAN**側**IP**アドレスに**192.168.1.15**を入力して〔ルールを追加〕ボタンを押します。

※**80**ポートはご使用の環境によって、すでに使用されていたりセキュリティの関係上お使いいただけない可能性もございます。その際は、**50000**ポートをご利用下さい。

〔7〕設定を確認します。これで**80**ポート宛のパケットは**192.168.1.15**の**KDR-1000**へ送られます。〔登録・保存ボタン〕を押します。

〔8〕アドレス変換の設定ができました。これで**80**ポートあてのパケットは**192.168.1.15**の**KDR**から送られるようになります。　これでポート開放の設定が完了しました。

※**KDR-1000**を**Web**上から見る場合、**80/9091/9092**ポートを開放する必要があります。　**80**ポートを開放した時と同様に**9091/9092**ポートも開放して下さい。

保証書

保証規定

1. 保証期間中に、万一故障や不都合が発生した場合はお買い上げ日より**1**年間無料で修理をいたします。
製品と、必要事項を記入した本書をそえてお買い上げ店までご持参下さい。
お買い上げ店が遠い場合は不良内容を明記の上、お買い上げ店住所までお送り下さい。
その際の送料はお客様負担になります。

2.保証期間内でも次の場合は有償修理となります。

a.使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び破損
b.天変地異（火災・地震・水害等）や異常電圧による故障及び破損
c.製品本来の使用目的以外での使用による故障及び破損
d.保管上の不備による故障及び破損
e.本保証書の提示がない場合
f.本書にお買い上げ年月日**,**お買い上げ店**,**お客様名の記入が無い場合
g.消耗品（ハードディスク・ファン等）の交換

3.保障期間後の修理や保証の適用されない修理に関しては有償で修理いたします。

4.本保証書は日本国内においてのみ有効です。

The Warranty is valid in Japan

保証書	ハードディスクレコーダー **KDR-1000** **VerⅢ**		持込修理
お買い上げ年月日	年	月	日
お客様 ご連絡先			
販売店名・住所・電話			

見本